

G1ドバイワールドカップ ダ2000

ダートのG1ながら、芝のG1で通用するスピードが求められるレース。

自身が芝G1実績馬であるか、父や母父、近親に芝のG1馬を持っている事が重要。

典型的な例は、2018・2019を連覇したサンダースノー。

父も母父も欧州の芝マイルG1馬で、自身も英仏の芝G1馬。

日本馬では皐月賞馬ヴィクトワールピサ。

昨年の優勝馬ウシュバテソーロは、

父が3冠馬オルフェーヴルで、母父キングカメハメハも変則3冠馬

21年の優勝馬ミスティックガイドは、

母の半姉が仏米の芝G1馬で、祖母はサドラーズウェルズ産駒。

17年の優勝馬アロゲートの父アンブライドルズソングは、

母父として3冠馬コントレイルをはじめ、スワーブリチャード、ジャックドール、トーホウジャッカル、ダノンプラチナと言った芝G1馬を出した芝向きのスピードを強化する血として有名。

16年の優勝馬カリフォルニアクロームは、自身が米国の芝G1馬。

15年の優勝馬プリンスビショップは、G1勝ちは無いものの芝の重賞を2勝しておりました。

14年の優勝馬アフリカンストーリーの半弟アフリカンゴールドは日本の芝G2勝ち馬。。

父ピヴォタルは英国の芝G1馬。

ドバイワールドカップ2024注目馬

・ウシュバテソーロ

昨年の優勝馬。

自身は芝で3勝。

父も母父も3冠馬。

・ドゥラエレーデ

自身が芝G1馬。

父：ドゥラメンテは2冠馬。

母父：オルフェーヴルは3冠馬。

母の半兄サトノダイヤモンドは芝G1を2勝。

祖母マルペンサはアルゼンチンの芝G1馬。

・カビールカーン

父は16年の優勝馬で芝G1馬。

母父キャッスルデールは米国の芝G1馬。

・ローレルリバー

母の全姉は米国の芝G1を2勝。

・ミリタリーロー

甥は独G1馬。

父はドバイワールドカップの優勝馬を2頭出したドバウイ。

また、ドバウイ産駒はダバイターフとドバイシーマCも制しており、

「ドバイはドバウイ」と言う格言にもなっています。